

島根原子力発電所の運転状況（平成20年3月分）

中国電力担当分

【1号機】：第27回定期検査のため、12月5日に発電を停止。  
 【2号機】：全期間原子炉定格熱出力一定運転を行った。

1 運転保守状況（中電データ）

号機	炉型	定格電気出力	営業運転開始日	今月の設備利用率(%)	今月の発電電力量(万kWh)	4月21日の状況	備考
1号機	BWR	46万kW	S49.3.29	0.0	0	調整運転中 (H20.4.20～) 第27回定期検査中	平成19年4月27日、原子炉格納容器冷却機1の定期補機切替のため、C-原子炉格納容器冷却機を起動したところ、電動機の電流値が通常運転時の約半分であったことから、当該冷却機不調の原因究明を行うこととし、定期補機切替を中止。 第27回定期検査（平成19年12月5日発電停止）において原因調査を行った結果、電流値の低下は当該冷却機出口側逆止ダンパ2のシートパッキンが劣化により貼付きやすくなり、出口側逆止ダンパの羽根に貼付き風量が低下したためと推定。 対策として、出口側逆止ダンパのシートパッキンを貼付き力の小さい素材に変更するとともに、他の冷却機についても同様に処置（中国電力欄公表済）  1 原子炉格納容器冷却機：原子炉格納容器内を冷却するために原子炉格納容器内に4台設置しており、原子炉が通常運転中は、この内の3台が稼働している。 2 逆止ダンパ：他号機からの逆流を防止するための機器。
2号機	BWR	82万kW	H1.2.10	100.1	61,093	運転中 (H19.7.22～)	

2 安全協定第9条で規定するLCO逸脱事象  
別紙のとおり

3 安全協定第10条で規定する異常事象  
該当なし

4 放射性固体廃棄物管理状況（中電データ）

	当月末保管量（前月比増減量）	当月発生量	当月処理量 <sup>2</sup>	前月末保管量
ドラム缶保管量（本）	22,561 (347)	492	145	22,214
その他の種類の保管量（本相当）	4,838 (2)	12	14	4,840
合計	27,399 (345) <sup>1</sup>	504	159	27,054

1 保管能力：35,500本 2 処理方法：ドラム缶減容処理

5 使用済燃料貯蔵状況（中電データ） 3月末現在（単位：体）

	1号機	2号機	合計
燃料プール貯蔵量	360	1,708	2,068
貯蔵容量	1,140	3,518	4,658
管理容量	660	2,818	3,478

管理容量 = 全容量 - (1炉心分<sup>1</sup> + 1取替分<sup>2</sup>)

1：1号機400体 2号機560体  
2：1号機約80体 2号機約140体

島根県担当分

6 放射性廃棄物の放出状況（中電データ）

今月までの放出実績は年間放出管理目標値等を下回っている。（単位：Bq）

	放射性気体廃棄物		放射性液体廃棄物	
	放射性希ガス	放射性ヨウ素(I-131)	トリウムを除く	トリウム
原子炉施設合計 (今年度累計)	ND <sup>1</sup> (ND)	ND <sup>2</sup> (ND)	ND <sup>3</sup> (ND)	5.8 × 10 <sup>9</sup> (4.4 × 10 <sup>11</sup> )
号機別 内訳	1号機 ND <sup>1</sup>	2号機 ND <sup>2</sup>	放出実績なし	放出実績なし
年間放出管理目標値	8.4 × 10 <sup>14</sup> <sup>4</sup>	4.3 × 10 <sup>10</sup> <sup>4</sup>	7.4 × 10 <sup>10</sup>	7.4 × 10 <sup>12</sup> <sup>5</sup>
サイトバン力建物	-	ND <sup>2</sup>	-	-

1：検出限界値 約2 × 10<sup>2</sup> Bq/cm<sup>3</sup> 以下  
2：検出限界値 約7 × 10<sup>9</sup> Bq/cm<sup>3</sup> 以下  
3：検出限界値 約2 × 10<sup>2</sup> Bq/cm<sup>3</sup> 以下  
(<sup>60</sup>Coで代表)

4：年間放出管理目標値は、平成17年4月から見直された。

5：年間放出管理の基準値を示す

(排気筒モニタ値及び放水路水モニタ値)

		今月分		先月の実績		安全協定で定める 通報基準値		
		最小	平均	最大	最小		平均	最大
排気筒モニタ	1号機	5.1	6.0	7.1	5.0	5.9	6.7	500 <sup>6</sup> (1,000 <sup>7</sup> )
	2号機	2.8	3.3	3.9	2.8	3.3	3.9	500 <sup>6</sup> (1,000 <sup>7</sup> )
放水路水モニタ	1号機	2.1	2.5	8.1	2.2	2.5	3.7	7 <sup>6</sup> (70 <sup>7</sup> )
	2号機	3.7	4.3	5.4	3.8	4.4	6.0	8 <sup>6</sup> (80 <sup>7</sup> )

6：この状態が10時間続くとき  
7：この状態になったとき

7 モニタリングポストの測定結果（敷地境界モニタリングポスト及び環境放射線情報システム）（中電データ、県データ）（単位：nGy/h）

	敷地境界モニタリングポスト（中電管理分）							環境放射線情報システム（県管理分）										
								西浜佐陀	御津	古浦	深田北	片句	北講武	佐陀本郷	末次	大芦	上講武	手結
平均値	22	25	31	22	29	27	平均値	51	41	41	29	44	36	30	33	36	39	43
最高値	42	43	49	42	48	46	最高値	76	64	60	47	62	58	56	50	54	62	62
月平均の変動幅	19～23	23～27	30～34	21～25	28～31	26～29	平常の変動幅(上限)	87	71	68	56	68	64	64	57	73	68	73
過去の最大値	82	79	115	105	130	100	前年度までの最大値	164	129	105	106	112	114	118	192	127	100	111

上講武は8月より移設したため、参考値

担当：島根県 総務部 消防防災課 原子力安全対策室  
 電話 0852-22-5278 FAX 0852-22-5930  
 中国電力（株）島根原子力本部 広報部  
 電話 0852-82-9093 FAX 0852-82-3514

(参考) 定例プレスでは掲載しない情報の例示

- (1) 環境放射線及び温排水測定結果・・・県が実施する調査結果と併せて「環境放射線等調査結果報告書」(四半期報)で公表する。
- (2) 島根原子力情報伝送システムの伝送計画及び実績・・・環境放射線情報システムやインターネットでリアルタイムで公表している発電所情報の伝送計画及び実績であり、長期欠測等については、その都度事前にインターネット等でお知らせしている。
- (3) 地震発生時の発電所の状況連絡・・・震度3以上の地震が発生した場合、中国電力から各報道機関へ直ちに連絡することとなっている。